

2022年度（令和4年度）第1回山形県社会人OAバスケットボール選手権大会兼 第5回日本社会人OAバスケットボール選手権大会東北ブロック予選コロナ感染防止対策

1 事前準備

- (1) 参加者は、参加者用健康チェックシートに必要事項を記載する。
- (2) 毎朝、起床時の体温を計測し、健康チェックシートに記録する。
- (3) 各チームは、施設提出用チェックシート（使用者名簿）を準備する。
- (4) 当日は、不織布マスクを着用する。

2 入場時

- (1) 入場は、試合開始1時間前とする。
- (2) 参加者用健康チェックシート全員分と施設提出用チェックシート（使用者名簿）を受付に提出し、点検を受ける。
- (3) 体温計測と手指のアルコール消毒を行う。
- (4) 点検後揃って入場する。

3 入場後から試合開始前まで

- (1) 観客席等の指定された場所に移動し、待機する。
- (2) 更衣室を使用する場合は、指示に従い、更衣室内で三密にならないように注意する。
- (3) 待機中は私語を慎み、飲食は行わない。
- (4) 前の試合終了後、ベンチが空いた事を確認してから、コートに入る。
- (5) コートに移動する前に、使用した椅子等をアルコール消毒する。
- (6) 荷物は全てベンチに持って移動する。
- (7) 移動後（試合後）は、観客席等に戻れないため、忘れ物等の無いようにする。

4 アップ会場

- (1) ハーフタイムでのコートでのウォーミングアップは認めない。
- (2) アップは、指定の場所でのみ認める。その際は、マスク着用のうえ、私語を慎むこととし、ボールの使用は禁止する。

5 試合中

- (1) ベンチでは、必ずマスクを着用する。
- (2) マスクを外すのは、オンザコートのプレーヤーのみとする。
- (3) 試合直後のマスク着用の徹底、ハーフタイム、試合に出ていない時もマスクを着用する。
- (4) 試合中は、声援による応援は行わず、拍手のみとする。ハイタッチ、ハグは禁止する。

6 試合後

- (1) 次試合のオフィシャルに入る場合を除き、速やかに会場から退場する。
- (2) ベンチのアルコール消毒を忘れずに行う。
- (3) 勝ち上がった場合も、一度退場し、指定時間以降に再度入場する。
- (4) 2日目に勝ち上がったチームは、受付で健康チェックシートを受け取り、9月4日（日）の入場の際、提出する。施設提出用チェックシート（使用者名簿）は、新たに準備し、提出する。

7 観客の制限

観客を制限し、会場に入場できるのは、次の者（以下「大会関係者」という。）とする。

(1) 役員（競技役員、審判員、TO委員会等）

(2) チーム関係者

① エントリーされた選手

② スタッフ（監督、コーチ、アシスタントコーチ、マネージャー）

③ チーム関係者の家族等5人まで

8 大会開催前に、陽性者又は濃厚接触者が発生した場合

(1) 潜伏期間を含め陽性者となった大会関係者が参加して練習を行ったチームは、大会に参加できない。

(2) 濃厚接触者と指定された大会関係者及びその同居家族が濃厚接触者とされた大会関係者は、参加を取りやめる。

※ 濃厚接触者の解除は、PCR検査等で陰性の結果が出たときに解除するものとする。

9 大会開催期間中に、陽性者又は濃厚接触者が発生した場合

(1) 大会関係者が陽性者として確認された場合は、その時点で本大会を中止する。なお、本大会は、東北ブロック予選会の予選を兼ねているため、中止となった場合は、大会役員の協議により対応する。

(2) 濃厚接触者と指定された大会関係者及びその同居家族が濃厚接触者とされた大会関係者は、参加を取りやめる。

※ チーム関係者が上記(2)に該当する場合において、PCR検査等を実施し、陰性が確認された場合は、当該チームは大会に参加できるが、予定する試合（大会）までに確認ができない場合は、不戦敗（棄権）とする。

(3) 上記(1)及び(2)が発生した場合は、チーム責任者は速やかに大会本部（大会委員長）に連絡するとともに、保健所等関係機関に連絡し、指導を受ける。

10 チーム関係者の厳守事項

参加するチーム関係者は、次の事項を厳守する。厳守できない場合は、大会参加者の安全確保の観点から、参加取り消しや退場させる場合がある。

(1) 大会参加前の体調管理の徹底

咳、咽頭痛、倦怠感等の体調不良、発熱などの症状がある場合は、参加しない。

発症から数えて2日間及び症状消失後より数えて3日間において次の項目に該当する場合は、参加しない。

① だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）、高熱などの強い症状のいずれかがある場合

② 重症化しやすい者（高齢者や基礎疾患がある方）で、発熱や咳など軽い風邪症状がある場合

③ 軽い風邪症状が続く場合

※ 上記①から③までの症状等に該当するチーム関係者が出たことにより、チーム編成が不可能となった事から棄権しなければならなくなった場合は、処罰対象とはしない。よって、各チームにおいては、安全確保、予防第一を考慮し、対応を決定すること。（本来、エントリー後の棄権は、処罰等の審議対象）

また、コーチ有資格者が同様の理由により不在となった場合には、大会委員長に速やかに連絡し、指示を受ける。

(2) 大会参加中

① こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒の実施

② コート外でのマスク着用

③ 大きな発声の自粛

(3) 健康チェックシートの提出

1.1 大会運営

大会運営においては、次の対応を行い、感染防止に努める。

(1) 来場前

倦怠感等の体調不良、発熱などの症状がある場合は、来場しない。

(2) 会場入口

- ① 体温が37.5度以上の者は、入場不可とする。
- ② 消毒用アルコールを設置し、入場者は必ず手指消毒を行う。
- ③ 入場の際のマスク着用は必須とする。
- ④ 下足は、各自管理する。

(3) チーム関係者

チームの代表者は、受付において施設提出用チェックシート（使用者名簿）、健康チェックシートを提出する。

(4) 観客席の利用

- ① チームごとに場所を指定する。
- ② 三密とならないよう間隔を空け、着席する。
- ③ 必ずマスクを着用する。

(5) トイレの利用

- ① 布タオルや手指を乾燥させる設備は使用しない。
- ② 消毒用アルコールを設置する。
- ③ 大便器は、蓋を閉めて水を流す。
- ④ 飲食物をトイレに廃棄しない。
- ⑤ 注意喚起、意識付けの表示。

(6) 競技

- ① 各ベンチ、オフィシャルズテーブルに消毒用アルコールを設置する。
- ② チーム関係者、審判員、テーブルオフィシャルズ、コートキーパーなど試合に関わる者は、試合の前後で必ず手指消毒を行う。
- ③ タオル、ドリンク類は共用しない。
- ④ TO席に着く場合は、マスクを着用する。
- ⑤ チーム関係者は、試合前にベンチ等の消毒、除菌を行う。
- ⑥ TOは、試合前にテーブル、椅子、機材、筆記用具等の消毒、除菌を行う。

(7) 会場での食事は禁止する。

(8) 開会式、表彰式

決勝終了後に、短時間で簡素な形式により行う。

(9) 試合終了後

- ① コートに降りた関係者は、手指の消毒、洗浄を徹底する。
- ② 試合終了後は、速やかに会場から退場する。退場の際は、必ず手指をアルコール消毒する。

(10) その他

- ① 役員により会場内の消毒、除菌を行う。多数の関係者が触れるドアノブ、テーブル、椅子などは特に消毒、除菌を徹底する。
- ② 競技に支障のない範囲で、窓、ドアなどは開放し、換気に努める。
- ③ 各自で発生したゴミは持ち帰り、会場のゴミ箱は使用しない。